（毎月１回１日発行）昭和63年５月２日第三種郵便物認可　豊かなクリーンライフを提唱する情報紙　2026年７月１日号　第498号　年間　5,000円（税込）

KNM GROUP
かなめ流通グループ

かなめ Kaname

全国クリーニング資材卸商協同組合
〒101-0047
東京都千代田区内神田3丁目5番5号大同ビル6階
電話03(5295)0136　FAX03(5295)0130
発行人　船木春男　　編集人　坂本吉敬

群馬・三洋商事展示会

会場の最高気温　昨年36.0度→今年23.1度だが…

気温は下がっても商談には熱！

回収乾、ドライ機、水洗機に成約札

クリーニングの市場は1992年（平成4年）をピークに30年以上にわたり縮小傾向にあり、設備投資に関する目も厳しくなっている。そのため、機材商が主催する展示会もほぼなくなり、クリーニング店が地元で最新の機器・システムに触れられる機会は、めっきりと減ってしまった。

そんな中にあっても、群馬県のかなめ会員機材商、三洋商事㈱（都丸聡社長）では、「クリーニング・リネンサプライの経営負担・労働負担軽減のお役に立ちたい」として、コロナ禍の真っ只中を除き、貴重な場を提供。もちろん今年も6月6～7日の2日間、前橋市鳥羽町の同本社に業界の機・資材のトップメーカー24社を集めて「クリーニング展示会2026」を主催し、様々な提案を行った。

なお、同社の展示会は昨年まで、7月第1週の週末に〝熱暑展〟（熱く暑い夏の祭典）として行われてきたが、年々暑さが厳しくなっていることを受けて今回は開催時期を〝6月第1週〟へと前倒し。その効果は大きく、最高気温は昨年が初日33・4度の真夏日、2日目は36・0度の猛暑日であったのに対し、今年は初日が25・1度、2日目は23・1度に。2日目は「半袖では肌寒いくらい」と、上着を羽織る出展者も少なくなかった。

涼しく、過ごしやすかった一方で、会場では目新しい提案が目立ち、例年以上に活気が感じられた。

注目製品の一つとなったのが、エレクトロラックスの「シーツアイロナー」。人手不足が深刻化する中、〝一人で完結できる〟が大きな特徴で、多くの人が熱心に機械の動きを見つめていた。

また、機・資材を問わず、様々な製品の値上がりが止まらない中、「導入しやすい新価格」として、披露されたのが三幸社のズボンプレス機「DP―130RJ―V4」。正式発売ではなく、プレリリース（事前公開・事前発表）ということであったが、「長年ご好評いただいているDPシリーズの品質はそのままに、フレームから見直しを図った」として、これまでのV3モデルが165万円だったのに対し、V4は17万円ダウンとなる148万円（金額は全て税別）に。三幸社でも「想像以上の反響があった」としており、やはり価格に敏感な業者が増えている様子がうかがえた。

さらに、夏本番を控えて、ダイキンがこの春の新製品の大空間向けエアコン「マルチジェット」を出品。工場などの暑熱対策に最適で、温調した大風量の空気が20ｍ先まで到達（空調機から離れた場所で作業する人まで、空調した風が届く）――とのこと。

このほか、本紙5月号で紹介したアトミットの「プレウォッシュガン」や、多賀電気の久々となるシミ抜き機のNEWモデル「ソノマイティSP―890」など、最新機器の実演に多くの人が足を止めていた。

コロナ禍を経て、クリーニングを取り巻く環境は厳しさを増し、さらに中東情勢緊迫化による原油高でかつてないコスト増にも苦しんでいるが、今年はハコモノへの「成約札」が目立ったほか、「会場での具体的な商談も多数あった」と、三洋商事も大きな手ごたえを感じているようだ。

（2面に関連記事）

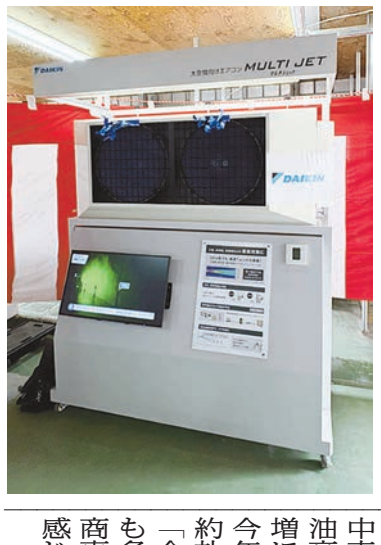
▲（右から）回収乾燥機、石油系ドライ機、水洗機に複数の成約札が貼られていた

▶三幸社のワイシャツセットも御成約！

注目を集めたエレクトロラックスの「シーツアイロナー」。〝一人で完結できる〟が大きな特徴で、多くの商談があったという

◀▼6月開催に変わったことで涼しく、過ごしやすかった会場だが、例年以上に活気が感じられた

▶前のモデル（V3）より買いやすくなった三幸社のズボンプレス機「DP―130RJ―V4」



▼ダイキンの新製品の大空間向けエアコン「マルチジェット」。温調した大風量の空気が20ｍ先まで到達するという

◀▼多賀電気のシミ抜き機「ソノマイティSP―890」。今年発売のNEWモデル！